

## 看護科学学位プログラム(博士前期課程)

## 専門基礎科目(看護科学学位プログラム前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	
OATMB11	看護科学論		1	2.0	1	春AB	火1,2	柴山 大賀, 岩田裕子, 目麻里子, 涌水 理恵	卓越した看護実践の基盤となる看護における諸理論や看護に関する諸理論と看護現象との関係について理解を深める。さらに看護に関する普遍的な法則性の追究、看護の経験的あるいは実証的な合理性の明確化などを通して看護を科学的に探求する。	対面
OATMB14	看護学研究法		1	3.0	1	春BC	水1-3	柴山 大賀, 伊藤智子, 菅谷 智一, 水野 智美, 阿部吉樹, 工藤 理恵, 山下 美智代	看護研究における科学的研究プロセスの理解と、その基本的な手法の帰納的・質的研究法、演繹的・量的研究法の研究法論を学際的に教授する。また研究倫理と、具体的な対象者の関わり方について、人間の尊厳を前提とした関わり方、およびそれに基づく研究者としての基本的資質について論じ、看護を科学的に探求する研究方法を教授する。	対面
OATMB15	保健統計学		1	2.0	1	春A 春BC	金5,6 金5	伊藤 智子, 阿部吉樹	統計学の基礎の理解を深め、看護研究の中でも量的研究に求められる統計解析法の基本的内容を習得する。全20回で構成し、講義の前半10回を統計基礎として、推測統計学の基礎を学び、後半10回においては、量的研究を実施するために必要な知識の習得、実際に用いられている統計手法を学び、統計分析ソフトウェアSPSSの使用法について基礎的な演習を実施する。	対面
OATMB16	国際看護学		1	2.0	1	秋A	応談	安梅 勅江	国際的な視点からみた看護活動、人材育成、組織化、施策化を行うため、健康をめぐる世界動向と課題、国際機関及び国際協力の役割と展望を概観する。 異文化と多様性を科学的・論理的に分析・理解し、当事者主体の倫理に裏づけされたエンパワメント、ネットワーキング、システム構築等を活用した看護実践方法、国際協力実践方法、国際比較研究方法を学ぶ。	対面
OATMB23	看護教育学		1	2.0	2	春BC	火3,4	岩田 裕子, 岡山久代, 柴山 大賀, 目麻里子	看護専門職者として看護基礎教育にかかわる基盤となる力を養う。看護基礎教育に必要な学習理論、教授方法、教育評価に関する知識を教授する。	対面
OATMB27	生殖生命倫理学		1	2.0	1	春BC	金3,4	岩田 裕子, 岡山久代, 水野 道代, 大川 加奈, 山下美智代	助産領域において生じる倫理的問題を理解するための知識について、総合的な講義と倫理的葛藤に関わる倫理的調整に必要な技能を養うために、事例を用いた討論を行う。	助産師課程専攻学生必修・対面
OATMB28	周産期のフィジカルアセスメント		2	1.0	1	春A	金3,4	大川 加奈, 岩田裕子, 宮園 弥生, 板垣 博也	助産領域におけるエビデンスに基づいたフィジカルアセスメントの知識と技術を習得する。そのうえで、エビデンスに基づいた創造的看護実践についてディスカッションを通して学ぶ。	助産師課程専攻学生必修・対面
OATMB29	地域母子保健論		1	2.0	1	春A	火3,4	岩田 裕子, 大宮朋子, 井坂 ゆかり, 大川 加奈	地域母子の現状を把握し母子への支援や政策的課題を研究的視点から考察する。多職種と連携・協働しながら、地域における子育て世代を包括的に支援する能力や、産後4 か月程度までの母子のアセスメントを行う能力を養う。	助産師課程専攻学生必修・対面
OATMB30	リプロダクティブ・ヘルス支援論		1	2.0	1	春AB	火5,6	岡山 久代, 佐藤豊実, 川崎 彰子, 堀 愛, 河野 禎之, 大川 加奈	ライフステージにおける健康問題の特徴について、概論的に教授する。リプロダクティブ・ヘルスに関する健康問題の予防・改善のためのエビデンスに基づいたケアについてプレゼンテーションとディスカッションを通して学ぶ。講義での学びを基に大学生を対象とした健康教育を企画・実施する。	助産師課程専攻学生必修・対面
OATMB31	リプロダクティブ・ステージの精神保健学		1	1.0	1	春A	木1,2	岡山 久代, 根本清貴, 笹原 信一郎, 堀 大介	ライフサイクルに伴って変化する精神の健康と健康問題、およびリプロダクティブ・ステージにある対象の精神の健康と健康問題を理解し、アセスメントするための能力を養う。周産期のメンタルヘルスにおけるケアシステムの課題と政策を分析し、研究的視点から考察する力を養う。	助産師課程専攻学生必修・対面

## 専門科目(看護科学学位プログラム前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	
OATMC13	国際保健・地域看護学特論		1	2.0	1	春AB	木5,6	安梅 勅江, 涌水 理恵, 井坂 ゆかり	国際的な視野でのエンパワメント理論に基づく発達ケアの研究手法、実践技術を学ぶ。 国内外の住民を対象とした疫学研究を健康支援活動に展開するための疫学的研究方法や実践の実例を学ぶとともに、ヘルスプロモーションに関する理論や基幹概念を学び、患者や住民への健康支援について考察する。	対面

OATMC14	国際保健・地域看護学演習 I	1	2.0	1	秋ABC	応談	満水 理恵, 安梅 勲江, 井坂 ゆかり	国際保健・看護学、公衆衛生看護学、ヘルスプロモーション、エンバウメント、家族看護学、精神看護学に関する文献クリティークを通して、当該分野における研究課題や研究方法、研究結果を評価する意義と方法等について学ぶ。これらから自身の研究課題に則した研究デザインを検討するとともに、看護科学上の意義ある研究計画を作成する能力を修得する。	対面
OATMC15	国際保健・地域看護学演習 II	1	4.0	2	通年	応談	安梅 勲江, 満水 理恵, 井坂 ゆかり	国際的な視点を踏まえ、公衆衛生看護学、疫学・保健学、ヘルスプロモーション、エンバウメント、家族看護学、精神看護学分野における最新の研究をキャッチアップしながら、自身の研究計画の遂行状況に関する討議を行う。当該領域に関する論文作成に向けた課題を明確にし、解決する能力を修得する。	対面
OATMC16	臨床実践看護学特論	1	2.0	1	春AB	月5,6	水野 道代, 落合 亮太, 柴山 大賀, 伊藤 智子, 目 麻 里子, 菅谷 智一, 阿部 吉樹, 工藤 理恵, 山下 美智代	病を持つ人々の保健行動を理解するために必要な看護理論・基本概念をテーマとして討論を行い、専門的な臨床看護を行っていく上で基盤となる主要理論ならびにその活用について学ぶ。最新の研究をベースにがんや慢性疾患における臨床看護学に関する研究方法、実践技術を学ぶ。	対面
OATMC17	臨床実践看護学演習 I	1	2.0	1	秋ABC	応談	柴山 大賀, 落合 亮太, 水野 道代, 伊藤 智子, 目 麻 里子, 菅谷 智一, 阿部 吉樹, 工藤 理恵, 山下 美智代	病を持つ人々の理解やケアにおける研究課題や研究方法、研究結果を評価する意義と方法等について、最新の研究結果から学ぶ。これらから自身の研究課題に則した研究デザインを検討するとともに、看護科学上の意義ある研究計画を作成する能力を修得する。	対面
OATMC18	臨床実践看護学演習 II	1	4.0	2	通年	応談	柴山 大賀, 落合 亮太, 水野 道代, 伊藤 智子, 目 麻 里子, 菅谷 智一, 阿部 吉樹, 工藤 理恵, 山下 美智代	臨床実践看護学分野における最新の研究をキャッチアップしながら、自身の研究計画の遂行状況に関する討議を行う。当該領域に関する論文作成に向けた課題を明確にし、解決する能力を修得する。	対面
OATMD11	ウィメンズヘルス看護学特論	1	2.0	1	春AB	月5,6	岡山 久代, 岩田 裕子, 大川 加奈	思春期から成熟期・更年期にかけての女性の健康に焦点を当て、ウィメンズヘルスの視点から看護の方法を体系的に把握する。海外の文献を中心に論文講読を行い、女性と家族の健康と看護に関する最新の研究動向を理解し、看護課題およびそれらを解決・評価する方法や理論を理解する。	対面
OATMD12	ウィメンズヘルス看護学演習 I	2	2.0	1	春C	月5,6, 金1,2	岡山 久代, 岩田 裕子, 大川 加奈	思春期から更年期にある健康リスクの高い女性あるいは健康問題を抱えた女性について、科学的思考を実践に生かすために、より高度な看護活動の方策、研究課題や研究方法、看護実践の質を評価する意義と方法等について理解し、看護実践研究の基礎的能力を修得する。	対面
OATMD13	ウィメンズヘルス看護学演習 II	2	2.0	1	秋C	金1-4	岡山 久代, 岩田 裕子, 大川 加奈	思春期から更年期の発達課題にそった健康支援における最新の研究内容および水準を理解し、実践科学として意味のある研究計画を作成する能力を修得する。	対面
OATMD14	ウィメンズヘルス看護学演習 III	2	3.0	1	秋ABC	月5,6	岩田 裕子, 岡山 久代, 大川 加奈	ウィメンズヘルス看護学・助産学領域における看護実践や文献等から研究テーマを見出し、課題に則した研究デザイン、研究計画を検討し、自らが取り組むべき研究課題を探索できる。	対面
OATMD15	ウィメンズヘルス看護学演習 IV	2	3.0	2	春ABC	月3,4	岡山 久代, 岩田 裕子, 大川 加奈	授業概要: 科学的根拠に基づいたケアを提供するために、周産期および女性の生涯を通じての助産実践について、Evidence-baseで思考し、研究していく過程について、ウィメンズヘルス看護学・助産学分野の研究を例に、講義、討議、および演習を通して学習する。	対面
OATMD16	助産学特論 I	1	2.0	1	春AB	月3,4	岡山 久代, 大川 加奈	ローリスク妊産婦および新生児・乳児に対して、高度専門職者としての質の高い助産実践と確かな診断をするための知識・技術および問題解決能力を習得する。助産師の倫理、助産診断とは、妊娠期・分娩期の助産診断、妊娠期・分娩期の医学診断と治療、乳房の診断と母乳育児、産褥期・新生児期の助産診断、胎児・新生児期の医学診断と治療について学習する。	助産師課程専攻学生必修・対面
OATMD17	助産学演習 I	2	2.0	1	春BC	応談	大川 加奈, 岡山 久代, 岩田 裕子	ローリスク妊産婦および新生児に対して、高度な助産実践者として確かな技術と科学的根拠に基づいた助産ケアを提供するための基本的知識・技術を習得する。	助産師課程専攻学生必修・対面
OATMD18	助産学特論 II	1	2.0	1	春B 春C	木3,4 月3,4	岩田 裕子, 岡山 久代, 濱田 洋実, 大川 加奈	最新の周産期のエビデンスやガイドラインに基づいた診断と治療、助産ケアを学ぶ。またローリスクのみではなくハイリスクの管理や、異常の診断と救急処置、異常分娩助産など緊急時の対応方法について学ぶ。さらに、ハイリスク事例を分析し、エビデンスに基づいた助産ケアを検討することにより、臨床における課題について解決するための研究・教育的基礎能力を養う。	助産師課程専攻学生必修・対面

OATMD19	助産学演習II	2	2.0	1	春C	応談	岩田 裕子, 岡山 久代, 大川 加奈	身体的、心理・社会的にハイリスク状態にある周産期の母子とその家族の事例を通して、プライマリーケアを踏まえ、予防・早期発見、異常の診断、周産期救急への対応について、質の高いケアを学ぶ。さらに、ハイリスク事例に関する政策的課題を分析し対策すること、ハイリスク事例に関する臨床の課題を研究的に分析することを学ぶ。	助産師課程専攻学生必修 対面
OATMD21	助産学特論III	1	1.0	2	春A	木3,4	岡山 久代, 大川 加奈	質の高い助産ケアを提供するための実践能力を育成する教育、助産ケアの質を保証するための組織における管理方法について学習する。また、母子保健サービスの領域における高度な専門職者に求められる管理能力について学習する。 助産師に求められるウイメンズヘルスケア能力、助産師の高度実践教育、助産業務ガイドライン、産科医療保障制度、助産師のキャリアプラン、助産実践能力の評価、助産所の開設と法的義務・規則、助産における人材育成と教育、大病院でのトップマネジメント、パースセンターの立ち上げと管理、MFIGUの管理、産科病棟および産科外来管理の実践について学習する。	助産師課程専攻学生必修 対面
OATMD22	助産学演習III	2	1.0	2	春B	木5,6	岩田 裕子, 岡山 久代, 大川 加奈	助産の質を評価し保障することについて助産管理の視点から研究的に学習する。エビデンスに基づく助産ガイドラインをクリティックすることにより、研究的視点で助産ケアを学習する。また、助産院の開設・運営に必要な事業計画を作成することにより、助産ケアの質を保証するための管理について学習する。	助産師課程専攻学生必修 対面
OATMD23	助産学実習I	3	8.0	1	秋ABC	応談	大川 加奈, 岡山 久代, 岩田 裕子	ローリスクの妊産婦および新生児の助産ケアについて、科学的根拠に基づいた実践が可能となる能力を習得する。また、助産実践の過程を通じて、対象への問題解決能力と個別対応が可能な能力、さらには高度専門職者としての助産観を育む。	助産師課程専攻学生必修 対面
OATMD24	助産学実習II	3	3.0	1・2	通年	応談	大川 加奈, 岡山 久代, 岩田 裕子	ハイリスク事例とその家族を対象に、科学的根拠をもって個別対応の助産過程を展開し、可能な範囲でケアの実践に関与する。また、受け持ったケースをレポートにまとめることでケアの質の改善に向けた研究課題、政策的課題、助産実践能力の養成について検討する。	助産師課程専攻学生必修 対面
OATMD25	助産学支援論	1	2.0	1	春BC	木1,2	大川 加奈, 岡山 久代, 岩田 裕子	多様な健康問題を抱える対象に対する助産診断とケア方法を教授する。助産診断に必要な情報収集および保健指導に必要なヘルスコミュニケーション能力と、助産ケアや支援を行う能力を養成する。	助産師課程専攻学生必修 対面

専門科目(共通)(看護科学学位プログラム前期)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考
OATMY11	インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談	看護教務委員長, 菅谷 智一, 安梅 勅江, 岡山 久代, 落合 亮太, 柴山 大賀, 水野 道代, 伊藤 智子, 岩田 裕子, 目 麻里子, 涌水 理恵, 阿部 吉樹, 井坂 ゆかり, 大川 加奈, 工藤 理恵, 山下 美智代	看護実践経験を持たない学生が、看護を科学的に捉える実践経験をj得るための実習である。学生は病院、学校、保健所・保健センター、訪問看護ステーションなどで自らの課題に応じた計画を主体的に実践、評価し、看護科学特別研究に繋がるように探求する。授業計画としては、学生自らが設定した課題について実習計画を立案し、実習施設の調整を主体的に行い、実習計画に基づいた実践と評価をしたのち、その成果を報告書としてまとめる。	対面 選択必修 日本で看護師としての臨床経験が3年未満の者(助産課程除く)
OATMY12	看護科学特別実習	3	2.0	1・2	通年	応談	看護教務委員長, 菅谷 智一, 安梅 勅江, 岡山 久代, 落合 亮太, 柴山 大賀, 水野 道代, 伊藤 智子, 岩田 裕子, 目 麻里子, 涌水 理恵, 阿部 吉樹, 井坂 ゆかり, 大川 加奈, 工藤 理恵, 山下 美智代	看護学における高度専門職業人になるための自分自身の課題を明確にし、自己成長するために、看護職としての自分自身の現状をアセスメントし、個人の現状に合致した場において課題を設定し研究的視点を持ちながら実践する実習である。さらにそこで得られた知見を、臨地における実証的研究として特別研究につなげられるように探求する。授業計画としては、学生自らが設定した課題について実習計画を立案し、実習施設の調整を主体的に行い、実習計画に基づいた実践と評価をしたのち、その成果を報告書としてまとめる。	助産師課程専攻学生必修 対面 選択必修 助産課程専攻学生および日本で看護師としての臨床経験が3年以上の者

OATMY13	看護科学特別研究	2	4.0	2	通年	応談	看護教務委員長, 菅谷 智一, 安梅 勅江, 岡山 久代, 落合 亮太, 柴山 大賀 水野 道代, 伊藤 智子, 岩田 裕子, 目 麻里子, 涌水 理恵, 阿部 吉樹, 井坂 ゆか り, 大川 加奈, 工 藤 理恵, 山下 美 智代	看護科学に関する各専門研究領域で、各専任教員が指導学生に対し、科学的視点から文献検索、研究計画書の作成、研究デザイン、データ収集、データ解析、結果の考察、倫理的配慮など一連のプロセスを通して、修士論文または特定の課題についての研究成果の作成に向けた研究指導を行う。	主専攻必修科目。対面
---------	----------	---	-----	---	----	----	---	--	------------